

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 4月 15日
- 事業名 : 被災者の心の健康を守る福島支援事業・心をつむぎ未来につながる社会の構築を目指して
- 資金分配団体 : 一般財団法人ふくしま百年基金
- 実行団体 : 特定非営利活動法人いわき放射能市民測定室
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無 : 有 無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
双葉郡から避難の比較的高齢者向けに「たちねお話し会」を実施	1回ごとの参加者の人数／参加者へのインタビュー	1回10名以上の参加／参加者の日々の暮らしが穏やかになり楽しみも感じられる、などの声があること。	2024/3/1	実施回数2回。延べ参加者数31名。コロナ禍で予定通りにお話し会を実施できず、残念がる声が目立つ。避難先がバラバラで、日程の調整もしにくいところがある。参加者は高齢の方が多く、加齢により動けなくなっていくことも心配である。	3

子どもを持つ母親世代に放射能の測定やお泊まり会実行の補助支援実施	放射能測定の実施と測定結果レポート／お泊まり会の実施回数／お泊まり会の参加者人数	大熊町・会津地方の放射能測定の実施と測定結果レポート／お泊まり会は1年に3回実施／お泊まり会の参加者は1回20名	2024/3/1	協働放射能測定回数2回。保養実施回数1回。保養参加者数9名。 測定したデータが決め手となり、子どもたちが通う予定の学校敷地の除染実施が決定。	2
双葉郡労働者の健康不安相談受付の実施	相談受付人数／利用者へのインタビュー	相談受付人数は1年に70名／利用者の健康に対する意識の向上が確認できること。	2024/3/1	健康診断利用者数25名。 作業員は、家族と離れて孤立していたり、さまざまな事情で車の免許もない人も多い。自分自身の健康管理にも疎い。2021年から、少しずつ広報を重ね「健康診断」や「健康相談」を認識してもらう努力が少しずつ実り、受診希望者が増えてきた。	2
震災当時18歳以下だった人々への子どもドック手帳の配布の実施	配布部数／利用者へのインタビュー	1年間に300部配布／事故当時子どもだった人たちが、自分の健康に自信を持つことができるようになる。	2024/3/1	子どもドック手帳配布数31冊。 手帳の配布は、被爆地で子育てをする保護者にとって、子どもの健康を守る気持ちを可視化するものである。震災後、「福島で子育てができるのか？」に悩みながら生活している人は多い。手帳の配布を実施してみて、子どもの健康を科学的に守るだけでなく、保護者の心も守ることを実感した。	2

<p>たらちね心のケア事業の実施・子どもたちへの遊びでのケアと非言語マッサージのケア</p>	<p>利用者の人数／保護者へのインタビュー</p>	<p>1年間に140~150名の子ども利用／母親が、心のゆとりを取り戻し、余裕ある子育てができるようになること。</p>	<p>2024/3/1</p>	<p>子どもたちの理由数のべ90名。 ・学校にはいけないけど、ここにはこられる。 ・気持ちがホッとする。 ・また、来たい。 ・癒される。</p>	<p>2</p>
<p>心の疲労が著しい子育てをする母親にボディワークによる非言語のケアを実施</p>	<p>利用者の人数／保護者へのインタビュー</p>	<p>1年間に48名の利用／保護者による子どもの心の理解が深まり、困難な社会情勢の中でも子どもの心が守られる世の中になること。</p>	<p>2024/3/1</p>	<p>母親たちの利用数のべ113名。 ・視野が広がったと感じる。 ・癒される。 ・世界が広がった。 ・子どもに対して余裕が出てきた。</p>	<p>2</p>

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
<p>A：変更項目</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>変更なし <input type="checkbox"/>短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/>アウトカムの目標値</p>

3. 活動に関する報告

事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、不自由さを感じる事がある。全ての事業は、人と人が接するものなので、予約を受けても時期により実行できないこともある。しかし、全般としては概ね予定通りに進んでいる。実行していく中で、予想していなかった効果があった。大熊町の母親たちとの協働測定事業では、そのデータが決め手となり、子どもたちの学校の除染に繋がった。帰還推進により、心の分断を強いられている住民同士の中に、共通の目標を放射能の測定から見出せる気配が見えてきた。子どもドック手帳の配布は、子どもを連れて避難せずに福島で暮らす親の心の救いになっていることがわかった。作業員の健康診断や、双葉郡から避難の高齢者のお話会など、これからエンジンをかけていく事業もあるが、少しずつ進めていくことが大事だと考えている。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

感染対策の強化。広いスペースでの事業実施など、ソーシャルディスタンスの確保。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している

報告書に表示している イベント実施時に表示している その他

→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：団体 WEB への掲載準備中であることと、購入した機器にステッカーを貼っている。

2. 広報

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

2.広報制作物等

3.報告書等

2021年10月：たらちね通信の発行 2022年3月：たらちね活動報告発行

4.イベント開催等 (シンポジウム、フォーラム等)

2021年12月：日本乳幼児精神保健学会で活動発表

2021年12月：子育てとナラティブ with おがわわわ 開催

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIAの窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）

*子育てとナラティブ、イベントのチラシと様子



*子どもたちの遊びの様子

